

日本サニテーションコンソーシアム（JSC）運営委員会（第7回）が開催されました

5月16日、平成26年度日本サニテーションコンソーシアム（JSC）運営委員会（委員長 大垣眞一郎 東京大学名誉教授）が東京新潟県人会館で開催されました。

JSCは、アジア・太平洋地域における水のナレッジハブ・ネットワークの衛生分野のハブ組織サニテーション・ナレッジハブとして、環境省、国交省の支援を受け、平成21年10月に発足した。（一財）日本環境衛生センター、（公財）日本環境整備教育センター、（一財）下水道事業支援センター、（公社）日本下水道協会および下水道事業団の5機関で構成され、アジア・太平洋地域の衛生状態の改善のための活動を行っています。

会議では、JSCの平成25年度事業実施結果が報告され、また平成26年度事業計画が審議され了承されました。平成25年の活動内容については、JSC河井事務局長が、1）ネットワーキング、2）情報収集、3）知識の普及と情報共有、4）国際援助機関への支援に関して具体的な説明を行いました。

運営委員会の各委員、またオブザーバーで出席されました環境省浄化槽推進室 豊村室長補佐と国土交通省下水道部 岡久部長から、JSCの今後の活動について多くの提言とアドバイスが寄せられました。

当教育センターからは廣瀬理事長の代理として三本木副理事長が出席しました。



会議の風景